

図書だより

石川県立松任高等学校図書室
平成26(2014)年11月発行

～ 地始凍（だいちがこおりはじめる）～

朝晩、とても冷え込むようになりました。天気予報で「放射冷却」という言葉を聞いたことがある人もいるかと思いますが。これは昼間、太陽によって暖められた地面や大気の熱が夜間に宇宙に放射されて温度が下がり、朝、気温が低くなる現象です。

図書室に新しい本が入ってきました。昼食後、図書室まで足を運んでみませんか。

新着図書入荷のお知らせ&オススメ本

今年度2回目の新着図書が入りました。



『日本発！世界のヒット商品』

毎日新聞経済部／編

サリーを洗える全自動洗濯機、イスラム教の聖地・メッカの方角が分かる腕時計 etc…。日本企業が世界の人の暮らしに合わせて、「柔軟な発想」と“おもてなしの心”で開発した商品を紹介。「日本のものづくりはすごい」と再認識する本です。

『3時のアッコちゃん』

柚木麻子／著

強引で、言いたいことは歯に衣着せずズバズバ言う“アッコちゃん”が帰ってきた！悩める働く女子たちにガツンと入れる喝が痛気持ちいい、読むと元気が湧いてくるシリーズの続編です。

『鹿の王 上・下』

上橋菜穂子／著

岩塩鉱の洞窟に謎の犬の群れが現れてから発生した謎の病。そこから逃げ出した奴隷のヴァン。病の治療法を懸命に探す医師師ホッサル。ふたりの男が愛する人々を守るため、そしてこの地に生きる人々を救うために苦闘する。

『Nのために』

湊かなえ／著

超高層マンションの一室で、そこに住む野口夫妻の変死体が発見された。現場に居合わせたのは、20代の4人の男女。彼らの証言は驚くべき真実を明らかにしていく。なぜ夫妻は死んだのか？それぞれが想いを寄せるNとは誰なのか？切なさに満ちた、著者初の純愛ミステリー。

『理系アナ樹太一の生物部な毎日』

樹太一／著

筋トレと登山合宿が必須の「体育会系」生物部の過酷な日々。デートとムシ取りの究極の選択。アナゴ採集で船酔いと戦い、アサリ掘りで砂にまみれた大学での研究生活。そして、未知のテレビ業界へ。生き物とともに成長し、理系魂で困難に立ち向かってきた日々を語る、人気No.1生物オタクアナの「ムシ熱い」青春記。

～ 先生方からみなさんにすすめるこの1冊 ～

第3回は国語科松原先生と社会科廣田先生です。

松原美佳先生おすすめの1冊

廣田香苗先生おすすめの1冊

『でこちゃん』 つちだのぶこ 著

「でこちゃん」と聞くと、皆さんは「ももクロ」をまず思い浮かべるかもしれませんがね。残念ながら違います。小さな頃の思い出にふけりたいとき、元気になりたいときに、私はこの絵本を手にしします。インパクト大な表紙に、胸をズキューンと打ち抜かれ、何度読んでも、心が温かくなるのです。話に共感できると思うので、特に女の子には読んでほしいです。

『情報を読む技術』 中西輝政 著

インターネットが私たちの日常に深く入り込み、さまざまな情報が飛び交う時代になりました。正しい情報を素早くキャッチし、正しく分析する能力が必要になってきます。イラクに大量破壊兵器はないとわかっていてもかかわらず、自分に都合のよい不確かな情報に飛びついた(利用した)結果、現在のイラクの状況があることなど現代社会の見えないところが見えてきます。難しいけれど考えさせられます。チャレンジしてみてください。



千歳飴



11月になると、神社で着物を着た親子連れに会います。手には皆、長い袋に入った千歳飴を持っています。千歳飴の由来には2つの説があります。1つは、元禄の頃、浅草で飴売りの七兵衛が、紅白の棒状の飴を、「千年飴」「寿命糖」と名付けて長い袋に入れ、売り歩いたのが始まりと言われる説です。もう1つは、1615年、大阪の平野甚左衛門が江戸に出て売り始めたという説です。千歳飴は子どもの長寿を願い、粘り強く細く長い形状で、縁起の良い紅白の飴となっています。千歳飴の袋にも、縁起の良い鶴亀や松竹梅が描かれ、長寿と健康を願う縁起物となりました。

図書館開放講座のお知らせ

日時	11月19日(水)	15:45~16:30
場所	図書室	
講師	小堀 香奈さん (白山市国際交流協会)	
演題	『ウガンダってどんな国』	
	みなさん、ウガンダってどこにあるか知っていますか？	
	誰でも参加OKです。	

